

そうけい、いま、つくってます！！



特集

芦屋大学にて、 授業を行いました！

なぜ大学生にアプローチ？

より良い地域を作るためには、総合計画の策定において、市民と行政が協働することが重要です。

しかし、若い世代における総合計画の認知度は低いという課題があります。

そのため芦屋市では、包括連携協定を結んでいる大学で授業を行い、学生への総合計画の周知・啓発に力を入れています。

若い世代にも総合計画を知ってもらおう

芦屋大学で7月9日に授業を実施しました。

授業では、学生が総合計画について理解を深められるよう、「第5次芦屋市総合計画前期基本計画」の冊子を一人ひとりに配布しました。

手元で総合計画を参照しながら、総合計画の概要や施策分野、さらに現在策定中の後期基本計画について、説明を行いました。

また、質問や意見をリアルタイムで投稿できるオンラインツールの活用や、アンケートの実施を通じて、学生から総合計画に対するイメージなど、様々な意見を聞くことができました。



市民と協働したまちづくり

講義では、課題が複雑化する中で、行政だけでなく、市民が総合計画の策定に参画することが、地域のより良い未来を創るためにますます重要であることを説明しました。

その上で、学生の方にも気軽にまちづくりに参画してもらえるよう、まずは市のホームページや広報を見てまちの課題や取組を知ることが、市民参画の第一歩になることを伝えました。

さらに、パブリックコメントの投稿や市民アンケートへの回答など、様々な参画の形があることも紹介しました。

授業後には学生の皆さんにアンケートへご回答いただきましたので、その一部を紹介します。

アンケートでいただいたご意見（一部抜粋）

◆今回の話を聞いて芦屋市だけでなく自分の住んでいる市の計画や施策にも興味を持つことができて良かったです。

◆芦屋市のことを知る機会をいただき、良かったです。

今後の社会を担う若い世代が総合計画を知ること、その意義の認知や、市民と行政の協働がさらに広がっていくことを期待しています。

次回は、第5回総合計画審議会についてご紹介します！

現行の芦屋市総合計画はこちら
・第5次総合計画前期基本計画
（第2期創生総合戦略）



前回までのバックナンバーはこちら



▶次回もどうぞ期待